

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 4年 5月 16日

学校名 社北小学校

校長氏名 中谷 忠裕

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 環境教育・環境学習に努めます。
- ② 委員会活動で環境にやさしい生活について広めます。
- ③ 地域・家庭と連携して、リサイクルや環境整備に取り組みます。

2 取組内容

- ① 環境教育・環境学習
 - ・教科・領域で持続可能な社会についての意識を高めます。
 - ・物を大切にする、節水・節電等に心がけます。
- ② 委員会活動で環境にやさしい生活について発信します。
 - ・SDGsの目標を校内に知らせます。
 - ・食品ロス削減と食品リサイクルについて発信します。
- ③ 地域と連携してリサイクルや自然体験に取り組みます。
 - ・地域と連携して資源回収を行います。
 - ・学校田の稲作体験から自然の恵みについて学習します。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

②のSDGsの目標について校内に知らせる活動では、自分たちで考えた意見やアイデアを実践することで主体的に協働して取り組む態度を養う。(参加・協力)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">社北小学校</h1>	
---	---

- 1 今年度の目標（学校の約束）**
- ① 環境教育・環境学習に努めます。
 - ② 委員会活動で環境にやさしい生活に努めます。
 - ③ 地域・家庭と連携して、リサイクルや環境整備に取り組みます。

- 2 取組内容**
- ① 環境教育・環境学習
 - ・教科・領域で持続可能な社会についての意識をして授業を行った。
 - ・野菜栽培や生き物と触れ合う活動を通して、自然を大事に守り育てようとする気持ちをもった。

野菜栽培・生き物探し等 自然と触れ合う活動



ミニトマトの世話や観察を根気強く行い、植物に直接触れ合う体験をした。野菜は給食で全校にも振る舞い、収穫を共に喜びました。（2年）



中学校区特別支援学級の交流会ででさつまいもの収穫をしました。中学校区の仲間と協力して収穫や調理に楽しく取り組みました。（あったか）



学校周辺で、水に住む生き物探しをしました。きれいな川を守っていきたいという気持ちにつながりました。（2年）



地域の公園で虫取りをしました。豊かな草木が生き物のすみかになっていることを体験しました。（1年）

下水道の出前授業



「上下水道」についてクイズを交えた学習と簡単な実験で下水道について学びました。環境を守り、水を大切にすることについて考えることが出来ました。(4年)

食物連鎖について クイズ作り



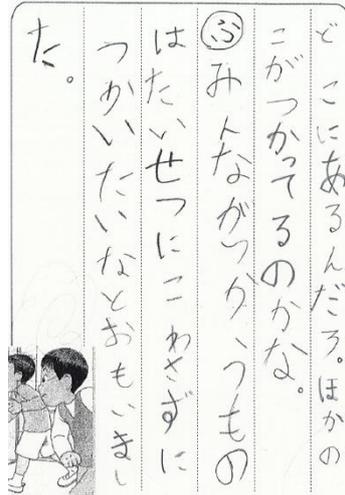
一人ひとりが好きな動物を選び、その動物の住処、食べ物、特徴等をクイズ形式で伝え合いました。地球には様々な生き物が関わり合っていることに気づく児童がいました。(6年)

ツバメダンスでSDGsの啓発



環境について意識を向けるきっかけとして取り組みました。みんなでのしみながらおどることができ、SDGsへの関心も少しもつことが出来ました。(3年)

物を大切にしようとする心を育てる



みんなで使う物の使い方を考え、大切に扱おうとする心情を育てた。また、自分の生活をふりかえりました。(1年)

② 委員会で環境にやさしい生活について発信

・インターネットや新聞記事でSDGsに関わる情報を集め、それぞれの委員会がSDGsを意識した目標を決め、活動に取り組んだ。

各委員会DGsの目標と活動計画

委員会毎の取り組む目標をのマークを添付



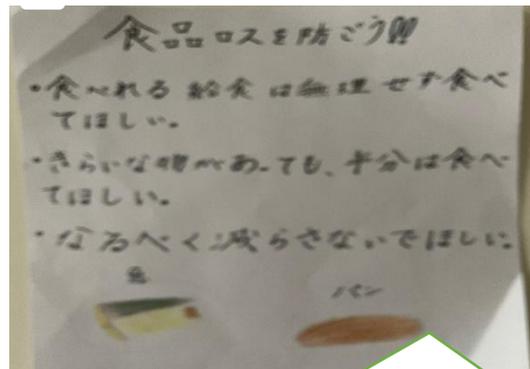
環境委員会：目標6 <安全な水とトイレを世界中に> 給食委員会：目標2 <飢餓をゼロに> 等に取り組みました。

節水の呼びかけ



手洗い時に、水を出しっぱなしにしたときの無駄になる水の量について調べ、水をとめるように呼びかけました。(環境委員会)

食品ロスをなくす呼びかけ

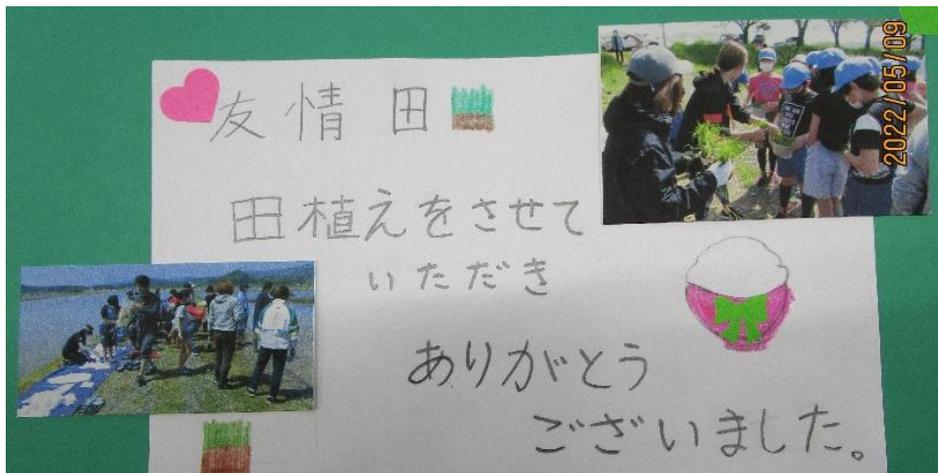


給食の食材についての知識や調理の様子等を全校に情報発信し、給食を残さずおいしく食べることに繋がった。また、委員会でポスターを作成し各クラスでチャレンジカードに取り組みました。(給食委員会)

③ 地域・家庭と連携して

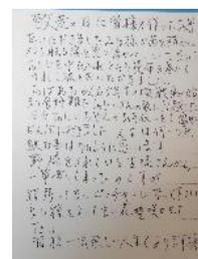
- ・地域と連携して町内毎に古紙やアルミ缶等の資源回収の集荷を行った。
- ・地域の方と一っしょに稲作をし、地域の自然や人とのつながりを大切に感じることに繋がる体験となった。

学校田で稲作体験



田植えを教えていただいた地域の方へお手紙を書きました。

お米を贈った地域のお年寄りからお礼のお手紙をいただきました。子どもたちへのあたたかいメッセージをいただきました。



地域の方と一っしょに稲刈りをしました。とれたお米は調理実習をしたりや地域の方へお届けしたりしました。(5年)

収穫したお米を味わい、五感を使って「おいしい」をつたえよう



コシヒカリ、ハナエチゼン、あきさかりの食べ比べをしました。一粒一粒をじっくり味わう貴重な体験となりました。（5年）

★ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

- 周囲の環境や他の生物と関わり合いながら生きていることを学び、生物多様性を理解した。各教科と関連させて環境を学び、環境を守ろうとする意識を高めた。（相互性・連携性）
- 環境について学んだ知識を委員会活動や総合学習で活かし、SDGsのために私たちが出来ることを子どもたち主体で考え取り組んだ。（参加・協力）

【具体的効果】

3
見
直
し

・SDGsの17の目標と自分たちの取り組んできた活動を照らし合わせ一人ひとりの行動が環境を守る活動につながることを意識できた。

【改善点】

・学校で育成している環境を守ることを考えて行動しようとする態度を、家庭や地域と連携して日常生活でも育成していきたい。